



ニューズレター

低平地研究会 (LORA), 国際低平地研究協会 (IALT)

No. 101

<https://lora-saga.jp/>

<https://lora-saga.jp/ialt/index.html>

令和3 (2021)年 7月15日

低平地研究会

第一回運営委員会の開催

2021年6月2日(水) 10:30~11:30に、運営委員会が、西村平本会会長をはじめ計16名の参加により開催されました。

西村会長から今回のオンライン開催について、今次状況下の研究会の方向性等について説明がありました。2020年度活動報告および決算、2021年度活動計画および予算、役員体制について、資料にもとづき説明がなされ、承認されました。委員会では、2020年度はコロナ禍により活動に制限がありましたが、後半にはオンライン活用などの活動が模索されたことや、2021年度は昨年の経験を踏まえ研究や成果普及の充実が予定されていることが確認されました。また、行政機関、企業、大学の連携推進においても低平地研究会の参画できないかという意見があり、今後の活動に活かされることとなります。

活動報告会の開催

本会の運営委員会の2021年6月2日13:30~14:20に、オンライン会議形式により23名の参加にて、活動報告会が開催されました。

冒頭では、西村平会長の挨拶、同日午前で開催された運営委員会での承認事項について、三島伸雄運営運営委員長より報告がありました。その後、本会の各専門部会(歴史・文化専門部会、地域創生専門部会、環境専門部会、都市空間専門部会、基盤整備専門部会、低平地防災特別部会)の部会長6名より、それぞれ2020年度の活動内容および2021年度計画や方針について説明がありました。詳細については本会HPおよび7月発行予定の「低平地研究No.30」をご覧ください。



特別講演会の開催

活動報告会の後、令和2年度の特別講演会がZOOMによるオンライン形式で行われました。今年度は、東京大学生産技術研究所の加藤孝明教授をお招きし、「気候変動に地域・都市はどう適応すべきか~低平地を対象に一緒に考える~」の題目でご講演いただきました。ご講演には低平地研究会会員や学生などオンラインで61名の方が参加されました。ご講演では、「1. 災害は適切に捉えられているか」、「2. 防災の新たなフェーズ: 気候変動の時代=流域対策の時代」、「3. 自然災害リスク低減に向けた市街地(都市計画・まちづくり)の潜在的な力」、「4. 自然災害に立ち向かう地域社会の力を醸成する」、「5. 低平地の事例: 浸水対応型市街地構想」、「6. 低平地を含む流域治水の今後に向けて」の6つの視点から具体的な取り組み事例なども交えながら説明されました。特に、全国スタンダード主義からの脱却(ローカリティを見直す)を目指す「温故創新」という考え方や、防災(安全)至上主義に偏り過ぎず「防災【も】まちづくり」という向き合い方が重要であることなど、改めて住民、企業、行政、研究者などを含む流域関係者がどのような姿勢で流域治水に取り組むべきかについて非常に多くの示唆を含むご講演となりました。



基盤整備専門部会 講演会開催

「佐賀低平地の軟弱地盤改良に関する事例と土の状態諸量の解釈について」

第一部では姫野季之博士より、軟弱な沖積粘土地盤の地盤改良における促進養生法について講演していただきました。固化材の違いによる差はあるものの、配合設計に必要な時間の短縮の可能性についても話題がおよびました。また第二部では日野剛徳教授より、土の状態諸量の解釈について講演していただきました。土の状態諸量の最も基本的な含水比についての考え方が示され、地盤工学に関する理解がより深められた機会となりました。

日時：3月26日(金) 10:00~12:30

場所：佐賀大学理工学部3号館1階都市大セミナー室
：Webex を利用したオンラインセミナーを同時開催

内容：講演

○第一部：佐賀低平地における深層混合処理工法の強度発現特性と促進養生法について

講師：大分工業高等専門学校 助教 姫野季之 氏

○第二部：土の状態諸量の解釈に関する一考察

講師：佐賀大学 教授 日野剛徳 氏

参加者：20名

共催：佐賀大学理工学科都市工学部門



都市専門部会

初心者のための

オンライン GIS 学習コンテンツの公開

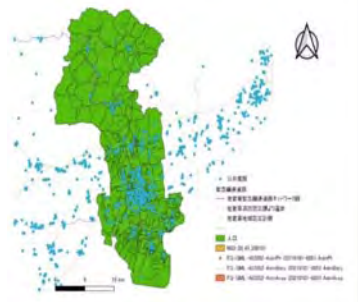
日時：2021年3月31日(水) 公開

場所：低平地研究会 Web サイト内

(<https://lora-saga.jp/toshi.html>)

主催：低平地研究会都市空間専門部会

初心者向けに GIS(地理情報システム)を学習するためのオンラインコンテンツを公開しました。ソフトウェアの入手や基本的な使い方を中心に、実際に GIS を体験し理解を深めていただくことを目的としてコンテンツを作成しています。現時点で、70 回ほどコンテンツが閲覧されており、会員の皆様のそれぞれの研究や業務で GIS を活用していくためのよい機会となったものと思われま。動画には低平地研究会ウェブサイト内の都市空間専門部会からアクセスできます。また、動画は1年間、公開いたします。



都市空間専門部会 特別講演会の開催

「建築のはじまりとおわり」

建築都市デザイン演習Ⅱ 第一課題〈街中にくらす、81人のための集合住宅〉に関連して、近年地域につながり、地域に開かれた集合住宅〈ROPPONGI TERRACE〉を設計された Cat パートナー大村真也氏をオンラインにてお招きし、特別講演会及び3年生建築設計課題のゲスト講評会を開催しました。対面・オンライン併用のハイブリッド型とすることで、科目を履修している3年生のほかにもオンラインで多くの聴講者の参加がありました。

日時：6月1日(火)15:00~19:00

場所：佐賀大学4号館デザインスタジオ+オンライン

主催：佐賀大学理工学部都市工学部門建築環境デザインコース

参加者：58名(対面22名、オンライン36名)



低平地研究の発行

低平地研究 No.30 が7月中旬に発行予定です。今号では「低平地における市民活動とコロナ禍」と題した特集記事が掲載されています。

なお、会員限定コンテンツとして低平地研究会図書室にてバックナンバーを公開しています。



特別会員 『会員動向』掲載記事募集

特別会員様の企業の取り組みや社会貢献活動など、会員のみなさまへの PR として是非ご活用ください。記事は200文字程度と写真1枚のボリュームです。詳細は事務局へおたずねください。

(lora@lora-saga.jp)

編集後記

気候の良い5月末に屋外実習を、とっていましたが、例年よりも早い梅雨入りで焦燥感一杯の最近でした。今年こそは平穏な梅雨であってほしいものです。

編集：三島悠一郎、後藤、武富 (lora@lora-saga.jp)